

# 業界の「当たり前」を見直し、 働き方を「選ぶ」仕組みをつくる



代表取締役社長  
後藤 耕司氏

株式会社朝日通商 道路貨物運送業

## 「リレー輸送」と「シャトル便」の 確立で、法規制と働き方改革を両立

「運輸・物流業界の当たり前を見直し、若者が働きたいと思える魅力的な業界にする」と、改革を進める後藤社長。慢性的なドライバー不足解消のため、労働時間8～9時間の「リレー輸送」と、改善基準告示で定められた1日13時間の拘束時間を最大限利用する中距離対応の「シャトル便」、ドライバーが選べる輸配送方式を確立した。「究極は社員の健康を考えたの策」と語る。

## 業界の壁を破る、週休2日制を導入

2020年から、隔週土曜出勤を週休2日制へと完全移行。年間休日が95日から119日へと大幅にアップした。さらに職場環境の改善を可視化して、求職者によるドライバーへの就職を促進。「働きやすい職場認証制度」で1つ星を獲得した。運輸業の未来を見据え、社員のエンゲージメントを醸成し、お客様のニーズに合わせた提案型の販売支援企業を目標に掲げている。



改革ストーリーは  
Webで!



POINT /

### 働き方改革のポイント

- 2つの輸配送方式を確立**  
ドライバーが働き方を選べる「リレー輸送」と「シャトル便」の輸配送方式を確立。社員の働き方に合わせて選べるようにしたことでドライバーの定着率もアップ
- 年間休日が95日から119日に**  
スタッフ(事務)職は土日休み、ドライバー職もシフトを活用し、週休2日制を導入
- 全社員の日報提出を義務化**  
従業員の業務の把握にも繋がり、業務の割り振りやシフトを決めるのにも役立つ

VOICE 従業員の声

### 働き方改革でどう変わった?

#### 週休2日制の実現に向けた 就業規則の改定に関する

就業規則の改定に主戦力として関わった際には「自身を含め、社員が安心して長く働き続けられる環境をつくること」を目標としました。あまりプライベートな時間が取れなかった隔週土曜出勤に比べ、週休2日となった今は、充実した休日を過ごすことができています。



管理本部  
北山 理彩さん

### COMPANY PROFILE 企業プロフィール

- 代表取締役社長 / 後藤 耕司
- 本社所在地 / 香川県高松市
- 従業員数 / 307名 (2021年1月現在)
- 設立 / 1970年
- 資本金 / 3,000万円

- 事業内容  
1. 一般貨物自動車運送業 2. 物流センターの管理運営及び物流情報の収集処理事業  
3. 3PL事業 4. 物品の仕分け、梱包及び発送業務の請負業  
5. 貨物運送取扱事業 6. ものづくり事業  
7. 倉庫並びに貸倉庫業 8. 作業請負事業  
9. 産業廃棄物、一般廃棄物の収集運搬業 10. 貿易代行事業